

建物概要

布施屋 : デイサービス (20名)	木造2階	838.64m ²
ショートステイ (20名)		
いきいき工房 : 交流ホール	木造平屋	82.65m ²
よろず屋 : 介護保険相談所	木造平屋	77.50m ²
cafe ひまわり畑 : コミュニティカフェ	木造平屋	99.58m ²
	合計	1,098.37m ²



所在地 長野県佐久市布施 769-1
 ホームページ <http://www.yuugen-fukushikai.com>
 オープン 2016年5月



あたり前の暮らしサポートセンター



事業主	社会福祉法人望月悠玄福祉会	長野県佐久市布施 769-1	TEL 0267-78-5131	FAX 0267-78-5132
監修	ケア・プロデュース RX 組	京都府京都市北区紫野上門前町 34	TEL 075-432-8692	FAX 075-432-8693
設計	合同会社わくわくデザイン	東京都江東区清澄 3-3-22-201	TEL 090-2636-6528	MAIL yagi@wkd.jp (担当: 八木)
施工	株式会社カネトモ	長野県茅野市宮川 7081	TEL 0266-72-2575	FAX 0266-72-0599

ひとびとが集まり活性化する拠点



本建物はデイサービスとショートステイ、障がいのある方の働くコミュニティカフェからなる中規模多機能福祉施設です。立ち寄りやすい立地で、いつも賑やかに人々が入り出し、四季のなかで暮らしにまつわる楽しい作業を行うことをコンセプトに計画しました。中庭はみんなで育てる畑・果樹・バーベキューコーナーがあります。

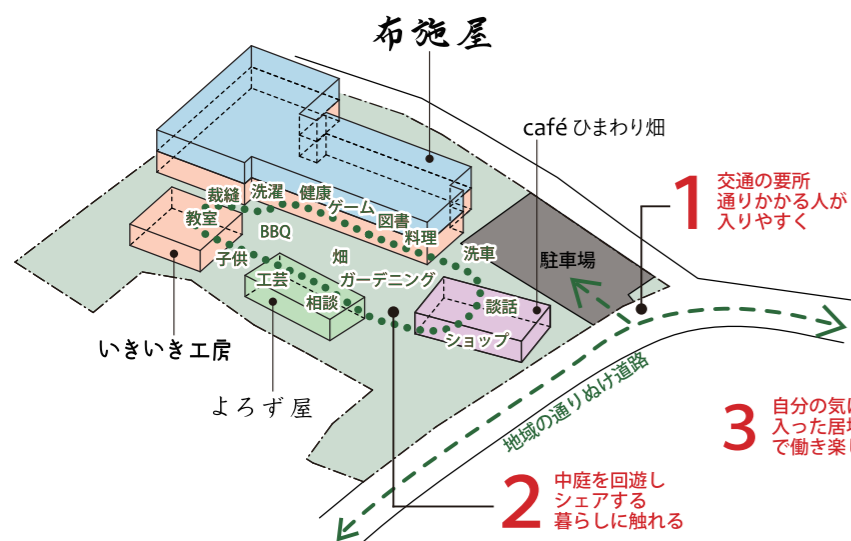
昔ながらの
良き暮らしを
次の世代に
伝える

お年寄りは地域風土に根付いた暮らしの知恵を伝え、いきいきと過ごしていただきます。スタッフは見知らぬ暮らし、新しい発見に触れることができます。

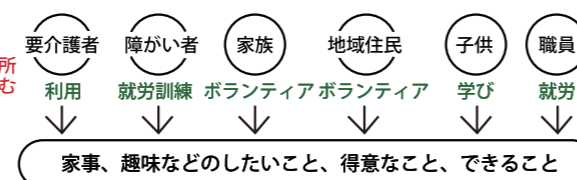


高齢になっても認知症になっても、そして障がいがあっても、住み慣れた地域・自宅で暮らし続けることを支える拠点づくりを目指しました。

そのために、施設の利用者だけでなく地域の人も一緒に作業する中で、信頼関係ができ、困りごとにはみんなで解決していくようなお互い様の関係づくりができる地域サロンのような福祉施設を考えました。



- みんなに愛着を持ってもらえる工夫として、
- ①地域の人も気軽に立ち寄れる建物配置
 - ②楽しいことが在り在りと見える中庭の風景
 - ③自分に合った居場所が見つけれられる多様な場
 - ④やりたい！気持ちを動かすスタンバイ OK 状態を計画しました。



- 1 利用者が座って調理できるアイランドキッチンダイニングテーブルと隣接させて、参加しやすい状況をつくっています。地域に伝わる家庭の味(イナゴ佃煮、タニシ汁等)をスタッフとつくり披露したり、お菓子をつくります。
- 2 壁側にはスタッフが調理するキッチンを配置し、最大45食程度をしっかりと提供できる設備としています。
- 3 メインの食堂の隣には、静養もできる畳コーナーがあります。木のフレームが適度に空間を区切り、落ち着いた雰囲気をつくります。
- 4 自宅の洗濯物を持ち寄り、洗濯コーナーでみんなで家事をすることもできます。





浴室はできるだけ自身の力を使えるように壁・面台・浴槽の縁に手摺を配置し、コンパクトで使いやすい動線としています。

床は濡れても滑りづらい十和田石を水勾配無しで使うなど安全性に最大限配慮しています。

肌に良く香りに癒される青森ひばの風呂と、遠赤外線効果で芯まで温まる信楽焼のお風呂を好みに合わせて選んでいただきます。



浴室は裸の付き合いのできるコミュニケーションの場所です。3名位で使えるちょっと広い石風呂は、拘縮のある方の入浴にも適しています。



楽しくおしゃべりしながら整容していただけるように、脱衣室を出た所にパウダーコーナーをつくりました。

1 トイレは3種類の手摺を設置し、できるだけ一人でしていただける環境を整えました。人により掴む場所が異なるため、最大限多くの場所が手摺になるようにしています。自分に合った手摺の位置を確かめ、自宅の改修の際に参考にすることもできます。

2 ショートステイの居室は、体格・身体状況に合わせて高さ調整できる洗面台を設置しています。

3 居室の扉は4色の黒板塗装としています。プライバシーに配慮しその人にだけわかるマークを描いたり、みんなでウェルカムメッセージを描くこともできます。

4 ショートステイの食堂は、スタッフ1名でも見守れるよう1つながりの場所に多様な居場所をつくっています。施設では3台の薪ストーブを導入し、障がいのある方に山の手入れ、薪づくりの仕事を生み出します。





1



3



4



2

1 母屋とホールをつなぐ渡り廊下は、日陰で見通し、風通しの良いたまり場です。

2 布施屋の縁側は、室内から縁側を経て中庭までをバリアフリーに整備し、誰でも自由に屋内外をできるようにしています。

3 cafe ひまわり畑は就労支援B型事業所の作業所です。情報発信、生産物の販売も行います。

4 いきいき工房は地域に開放したホールです。見える木材はすべて地元のカラマツ材です。全棟合わせて75%の県産材の木材を使用しています。

5 よろず屋は、福祉に限らず様々な地域の困りごとを持ち込んでいただく相談所です。



5